



2025年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ
コード番号 2160 URL <https://www.gnipharma.com>
代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役副社長COO兼CFO (氏名) 松井 亮介
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

上場取引所 東

(TEL) 03-6214-3600

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	19,357	12.6	△497	—	△1,084	—	△2,076	—	△495	—	△3,978	—
2024年12月期第3四半期	17,192	△16.3	2,342	△65.6	1,806	△71.7	607	△87.3	1,305	△41.0	△423	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	△9.65	△9.65
2024年12月期第3四半期	26.12	25.20

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第3四半期	82,597	52,531	50,050	60.6	900.26
2024年12月期	71,942	39,713	36,446	50.7	726.67

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2025年12月期	—	—	—		
2025年12月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	28,733	21.7	23,217	—	22,541	—	15,868	—	12,058	997.9

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー

除外 ー社 (社名) ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① I F R Sにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年12月期 3 Q	55,608,833株	2024年12月期	50,168,243株
2025年12月期 3 Q	13,643株	2024年12月期	13,550株
2025年12月期 3 Q	51,397,391株	2024年12月期 3 Q	49,970,288株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料「1-(5)連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（金額の表示単位の変更について）

当社の要約四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で表示しておりましたが、当第3四半期連結会計期間及び当第3四半期連結累計期間より百万円単位での表示に変更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第3四半期連結累計期間につきましても、百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) キャッシュ・フローの概況	4
(4) 研究開発活動	4
(5) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(作成の基礎)	12
(セグメント情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績・財政状態に関する分析

（1）経営成績に関する分析

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の悪化や、米国による関税政策により景気の先行き懸念が広がるなど、不確実性が高い状態が続きましたが、全体としては底堅さが維持されました。我が国においても、関税政策などの影響で先行きに不透明感が残るものの、個人消費は物価上昇の影響を受けつつ一定の強さを維持し、企業業績はおおむね安定した成長を保ちました。当社が属するバイオテクノロジーセクター及び東証グロース市場につきましては、投資家の関心が一部の大型株へと向かう一方で、東証グロース市場は軟調な推移となりました。このような状況下においても、株式会社ジーエヌアイグループ（以下「当社」）及びその関係会社（以下合わせて「当社グループ」）は、製薬事業（医薬品事業）、医療機器事業ともに売上は堅調に推移し、営業損失を縮小いたしました。

製薬及び創薬事業（医薬品事業）におきまして、当社グループの主要子会社であるGyre Pharmaceuticals Co., Ltd.（北京コンチネント）（以下「GYRE Pharmaceuticals」）の研究開発は、じん肺治療を新たな適応症とするアイスーリュイの第3相臨床試験において被験者の登録が完了いたしました。また、2024年10月、次期製品の有力な候補であるB型肝炎起因の肝線維症を適応としたF351の第3相臨床試験を中国にて完了し、2025年5月に第3相臨床試験の結果を発表いたしました。新薬承認申請（NDA）は、現在、優先審査に関する当局との協議が進行中であり、規制当局とのやり取りが完了次第、申請提出を予定しております。更に、米国ナスダック市場に上場する当社子会社のGyre Therapeutics, Inc.（以下「GYRE」）は、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）起因の肝線維症を適応症とするF351の第2相臨床試験を米国で開始するため、中国で実施した第2相・第3相臨床試験データの翻訳及び規制当局水準での品質審査、ならびに今後実施予定の肝機能障害試験を基に、IND申請を2026年に行う予定です。

GYREはEtores[®]（ニンテダニブエシル酸塩ソフトカプセル）の上市遅延及び集中購買の影響を踏まえ、2025年度通期の売上見通しを1億1,800万～1億2,800万ドル（約17,110百万円～18,560百万円）から1億1,500万～1億1,800万ドル（約16,675百万円～17,110百万円）に修正いたしました（通期想定為替レート1米ドル＝145円）。一方で、主力製品であるアイスーリュイの販売が第3四半期連結会計期間において40億円（前年同期比7.9%増）と堅調な売上を維持し、2025年9月単月では過去最高売上を記録しております。

2024年11月、米国及び中国を中心に革新的な新薬の研究開発を行っている米国子会社Cullgen Inc.（以下「Cullgen」）は、リバースマージャーによって米国ナスダック市場の上場会社となることを発表いたしました。上場した際には、GYREに続く2社目となります。

Cullgenは独自の標的タンパク質分解誘導技術プラットフォームuSMITE[™]（ubiquitin-mediated, small molecule induced target elimination）を活用した創薬に引き続き邁進しております。アステラス製薬株式会社（以下「アステラス製薬」）と革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結しており、本戦略的提携におけるアステラス製薬との共同研究を進めております。

同社初のTRK分解剤の抗がん剤候補としてCG001419（開発コード）の第1／2相臨床試験を中国にて進めております。また、追加の適応症として急性及び慢性疼痛を対象とした第1相臨床試験を2025年1月にオーストラリアにて開始し、被験者の登録が完了しました。2026年初めを目処に米国FDAにINDを申請する予定です。更に、中国及び米国で開発を進めている悪性血液腫瘍（白血病）治療薬であるCG009301（開発コード）の第1相臨床試験を2025年4月より開始しております。他の複数のプログラムにつきましても、臨床試験開始を目指して研究開発を進めております。

医療機器事業に関しましては、メドテック（生体材料）事業において、Berkeley Advanced Biomaterials LLC（以下「BAB」）とBerkeley Biologics LLC（以下「BB」）を中心にBBは皮膚由来製品であるAccellodermや骨由来製品であるD-fiber等の製品開発を行うと同時に胎盤由来製品の大口受注を獲得しており、引き続き売上収益及び利益は好調に推移しております。

①セグメント別の経営成績

医薬品事業

当第3四半期連結累計期間の医薬品事業セグメントの売上収益とセグメント損失は、それぞれ13,212百万円（前年同期比2.9%減）、1,552百万円（前第3四半期連結累計期間は、1,419百万円のセグメント利益）となりました。医薬品事業セグメントの売上収益は、GYRE Pharmaceuticalsの主力製品であるアイスーリュイの中国市場での売上収益の回復を受け、前年同等水準となりました。一方のセグメント利益の大幅な減少は、Cullgenのリバースマージャー関連費用及び臨床試験の進展による開発費用の増加等の他、主に下記に記載しております前第3四半期連結累計期間におけるGNI USAとの関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益1,262百万円の配分によるものです。

医療機器事業

当第3四半期連結累計期間の医療機器事業セグメントの売上収益とセグメント利益は、BBの売上収益が好調に推移したため、それぞれ6,144百万円（前年同期比71.5%増）、1,054百万円（前年同期比14.3%増）となりました。下記に記載しております前第3四半期連結累計期間におけるGNI USAとの関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益360百万円の配分の影響を除くと、医療機器事業のセグメント利益は大幅に伸長しております。

前第3四半期連結累計期間におけるGNI USAとの間の関係会社長期貸付金に係るその他の収益の計上

GNI USAとの間の関係会社長期貸付金精算に伴う為替換算差額累積額の戻入益1,622百万円（2024年1月18日適時開示しております。）について、下記の通り医薬品事業及び医療機器事業への売上収益に基づく配分を行っております。

医薬品事業	： 1,262百万円
医療機器事業	： 360百万円
合計	： 1,622百万円

②販売費及び一般管理費並びに研究開発費

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
販売費及び一般管理費	△10,872	△11,949	△1,077
人件費	△4,067	△4,497	△429
研究開発費	△1,927	△2,446	△518

当第3四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、11,949百万円（前年同期比9.9%増）となりました。この販売費及び一般管理費の増加は、主にCullgenの上場関連費用によるものです。

当第3四半期連結累計期間の研究開発費は、2,446百万円（前年同期比26.9%増）となりました。この研究開発費の増加は、主にCullgenにおける臨床試験前と臨床試験の進展によるものです。

③金融収益及び金融費用

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
金融収益	563	613	49
金融費用	△1,122	△1,198	△76

金融収益

当第3四半期連結累計期間の金融収益は、613百万円（前年同期比8.8%増）となりました。この金融収益の増加は、主に為替差益の増加によるものです。

金融費用

当第3四半期連結累計期間の金融費用は、1,198百万円（前年同期比6.8%増）となりました。この金融費用の増加は、主にCullgenの資金調達に関する現金支出を伴わない利息費用の増加によるものです。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期連結累計期間	差額
資産合計	71,942	82,597	10,654
負債合計	32,229	30,066	△2,162
資本合計	39,713	52,531	12,817

資産合計

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、82,597百万円（前連結会計年度末比14.8%増）となりました。この資産の増加は、主に海外募集による現金及び現金同等物の増加によるものです。

負債合計

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、30,066百万円（前連結会計年度末比6.7%減）となりました。この負債の減少は、主に短期借入金の減少によるものです。

資本合計

当第3四半期連結会計期間末における資本合計は、52,531百万円（前連結会計年度末比32.3%増）となりました。この資本の増加は、主に海外募集による資本金及び資本剰余金の増加によるものです。

(3) キャッシュ・フローの概況

連結キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間	差額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,057	△707	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,436	293	6,729
財務活動によるキャッシュ・フロー	603	13,392	12,788

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、707百万円の支出（前第3四半期連結累計期間は、2,057百万円の支出）となりました。これは主に、法人所得税の支払額の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、293百万円の収入（前第3四半期連結累計期間は、6,436百万円の支出）となりました。これは主に、差入保証金・敷金の減少による収入によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、13,392百万円の収入（前第3四半期連結累計期間は、603百万円の収入）となりました。これは主に、海外募集による株式の発行による収入によるものです。

(4) 研究開発活動

〔創薬研究活動〕

当社グループの創薬研究では、Cullgenを中心に革新的な新規開発候補化合物（NCE）の開発を目指しております。Cullgenは、がん、疼痛、及び自己免疫疾患に対する酵素及び非酵素タンパク質を標的とした複数の新規化合物を含む創薬パイプラインの拡充のための研究開発を進めております。

2023年6月に、Cullgenはアステラス製薬と、革新的なタンパク質分解誘導剤創出に向けた共同研究及びオプション契約を締結いたしました。本戦略的提携において、両社は新規E3リガンドを活用したCullgen独自の技術プラットフォームuSMITE™とアステラス製薬の創薬及び商業化能力を融合し、複数の標的タンパク質分解誘導剤の創出を目指します。Cullgenとアステラス製薬は臨床開発対象の化合物を見出すための共同研究を行い、アステラス製薬は見出された分解剤の開発及び商業化を担います。乳がんやその他の固形がんを対象として、アステラス製薬が同定したリードプログラムである細胞周期タンパク質に対する分解誘導剤候補化合物も含むアステラス製薬との共同研究を

進めております。

〔開発活動〕

■アイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：ETUARY®（一般名：ピルフェニドン）〕－GYRE Pharmaceuticals
GYRE Pharmaceuticalsは、アイスーリュイの適応を以下の疾患に拡大する臨床試験を進めております。

- ・糖尿病腎症（DKD）：第1相完了、今後の進め方を中国当局と継続協議中
- ・結合組織疾患（CTD-ILD）を伴う間質性肺疾患（全身性硬化症（強皮症、SSc-ILD）と皮膚筋炎（DM-ILD））：第3相臨床試験継続中
- ・じん肺治療薬（Pneumoconiosis, PD）：第3相臨床試験継続中（被験者登録完了）
- ・免疫関連肺炎（CIP）の有無にかかわらない放射線誘発性肺障害（RILI）：アダプティブ・デザイン第2/3相臨床試験を開始予定

■F351（一般名：ヒドロニドン）－GYRE Pharmaceuticals及びGYRE

F351は肝線維症向け治療薬候補として、当社グループの医薬品ポートフォリオにおける重要な新薬候補であり、世界の主要医薬品市場への参入に向けた戦略において非常に重要なものとなります。F351は、ブロックバスター（一般的に年間売上高が10億ドルを超えるとされる医薬品）と期待する新薬候補です。

GYRE Pharmaceuticalsは2024年10月、中国におけるB型慢性肝炎に起因する肝線維症患者を対象とした第3相臨床試験を完了しました。新薬承認申請（NDA）は、現在、優先審査に関する当局との協議が進行中であり、規制当局とのやり取りが完了次第、申請提出を予定しております。

GYREは、MASH（代謝機能障害関連脂肪肝炎）起因の肝線維症を適応症とするF351の第2相臨床試験を米国で開始するため、中国で実施した第2相・第3相臨床試験データの翻訳及び規制当局水準での品質審査、ならびに今後実施予定の肝機能障害試験を基に、IND申請を2026年に行う予定です。

■F573（急性肝不全（ALF）・慢性肝不全の急性増悪（ACLF）治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

急性肝不全（ALF）や慢性肝不全の急性増悪（ACLF）の治療薬として、F573の第2相臨床試験を中国にて実施しております。

■F230（肺動脈性肺高血圧症治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

F230は、肺動脈性肺高血圧症の治療薬です。2024年5月に、GYRE Pharmaceuticalsは中国においてINDの承認を受け、2025年6月に第1相臨床試験を開始いたしました。

■F528（慢性閉塞性肺疾患（COPD）治療薬）－GYRE Pharmaceuticals

F528は、複数の炎症性サイトカインを抑制する新規の抗炎症剤であり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の進行を軽減する可能性のある新薬候補として中国にて2026年にIND申請を予定しております。

■CG001419（TRK分解剤）－Cullgen

CG001419は、業界初の選択的かつ強力な標的タンパク質分解誘導剤を活用した経口剤として開発を進めております。2023年7月に、同社初となる第1/2相臨床試験を中国にて開始いたしました。また、2025年1月に急性及び慢性疼痛を対象とした第1相臨床試験をオーストラリアにて開始し、2025年9月被験者の登録が完了しました。

■CG009301（悪性血液腫瘍（白血病）治療薬）－Cullgen

CG009301は、GSPT1タンパク質を標的とした新規の分解薬であり、2024年10月に国家薬品监督管理局（NMPA）によりINDが承認され、2025年4月に第1相臨床試験を開始いたしました。

（5）連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年2月14日に公表いたしました連結業績予想から修正しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	5,696	5,346
使用権資産	1,559	1,810
のれん	15,994	15,071
無形資産	11,026	11,694
持分法で会計処理されている投資	386	350
繰延税金資産	2,234	2,138
その他の金融資産	5,764	4,957
その他の非流動資産	56	73
非流動資産合計	42,720	41,442
流動資産		
棚卸資産	2,529	3,811
営業債権及びその他の債権	6,236	6,061
その他の金融資産	9,291	7,662
その他の流動資産	1,050	842
現金及び現金同等物	10,115	22,777
流動資産合計	29,222	41,155
資産合計	71,942	82,597
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	1,200	900
リース負債	735	975
繰延税金負債	2,171	2,141
その他の金融負債	15,454	15,620
その他の非流動負債	203	395
非流動負債合計	19,764	20,032
流動負債		
営業債務及びその他の債務	2,263	1,982
借入金	4,575	2,350
1年内返済予定の長期借入金	400	400
リース負債	295	348
未払法人所得税	2,611	2,734
その他の金融負債	0	2
その他の流動負債	2,318	2,215
流動負債合計	12,464	10,033
負債合計	32,229	30,066
資本		
資本金	13,276	19,638
資本剰余金	6,626	15,659
自己株式	△15	△15
利益剰余金	9,888	9,393
その他の資本の構成要素	6,669	5,374
親会社の所有者に帰属する持分合計	36,446	50,050
非支配持分	3,267	2,481
資本合計	39,713	52,531
資本及び負債の合計	71,942	82,597

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上収益	17,192	19,357
売上原価	△3,515	△4,982
売上総利益	13,676	14,374
販売費及び一般管理費	△10,872	△11,949
研究開発費	△1,927	△2,446
その他の収益	2,241	330
その他の費用	△775	△806
営業利益 (△損失)	2,342	△497
金融収益	563	613
金融費用	△1,122	△1,198
持分法による投資利益 (△損失)	22	△1
税引前四半期利益 (△損失)	1,806	△1,084
法人所得税費用	△1,199	△991
四半期利益 (△損失)	607	△2,076
四半期利益 (△損失) の帰属		
親会社の所有者	1,305	△495
非支配持分	△697	△1,580
1株当たり四半期利益 (△損失)		
基本的1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	26.12	△9.65
希薄化後1株当たり四半期利益 (△損失) (円)	25.20	△9.65

要約四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期利益（△損失）	607	△2,076
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△1,040	△1,888
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	9	△14
その他の包括利益合計	△1,031	△1,902
四半期包括利益合計	△423	△3,978
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	67	△2,345
非支配持分	△490	△1,633

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2024年1月1日残高	13,052	7,397	△15	8,790	1,503	3,065	4,569
四半期利益（△損失）	—	—	—	1,305	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△1,237	△1,237
四半期包括利益合計	—	—	—	1,305	—	△1,237	△1,237
連結範囲の変動	—	—	—	—	—	—	—
支配継続子会社に対する持分 変動	—	△1,040	—	—	—	△55	△55
新株の発行	171	171	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	86	—	86
新株予約権の発行	—	—	—	—	0	—	0
新株予約権の行使	—	—	—	—	△96	—	△96
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4	—	△4
所有者との取引額合計	171	△868	—	—	△14	△55	△69
2024年9月30日残高	13,223	6,529	△15	10,095	1,488	1,772	3,261

	親会社の所有 者に帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	合計		
2024年1月1日残高	33,794	2,710	36,504
四半期利益（△損失）	1,305	△697	607
その他の包括利益	△1,237	206	△1,031
四半期包括利益合計	67	△490	△423
連結範囲の変動	—	91	91
支配継続子会社に対する持分 変動	△1,095	1,024	△71
新株の発行	343	—	343
株式報酬取引	86	—	86
新株予約権の発行	0	—	0
新株予約権の行使	△96	—	△96
新株予約権発行費用	△4	—	△4
所有者との取引額合計	△767	1,115	348
2024年9月30日残高	33,094	3,335	36,429

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	合計
2025年1月1日残高	13,276	6,626	△15	9,888	1,616	5,052	6,669
四半期利益（△損失）	—	—	—	△495	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	—	△1,849	△1,849
四半期包括利益合計	—	—	—	△495	—	△1,849	△1,849
支配継続子会社に対する持分 変動	—	2,671	—	—	—	—	—
新株の発行	6,514	6,514	—	—	—	—	—
株式発行費用	△152	△152	—	—	2	—	2
株式報酬取引	—	—	—	—	613	—	613
新株予約権の発行	—	—	—	—	10	—	10
新株予約権の行使	—	—	—	—	△68	—	△68
新株予約権発行費用	—	—	—	—	△4	—	△4
新株予約権の失効	—	0	—	—	△0	—	△0
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
所有者との取引額合計	6,362	9,033	△0	—	554	—	554
2025年9月30日残高	19,638	15,659	△15	9,393	2,171	3,203	5,374

	親会社の所有 者に帰属する 持分	非支配持分	資本合計
	合計		
2025年1月1日残高	36,446	3,267	39,713
四半期利益（△損失）	△495	△1,580	△2,076
その他の包括利益	△1,849	△53	△1,902
四半期包括利益合計	△2,345	△1,633	△3,978
支配継続子会社に対する持分 変動	2,671	846	3,518
新株の発行	13,028	—	13,028
株式発行費用	△301	—	△301
株式報酬取引	613	—	613
新株予約権の発行	10	—	10
新株予約権の行使	△68	—	△68
新株予約権発行費用	△4	—	△4
新株予約権の失効	—	—	—
自己株式の取得	△0	—	△0
所有者との取引額合計	15,949	846	16,796
2025年9月30日残高	50,050	2,481	52,531

（注）前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2024年1月1日残高の遡及修正を行っています。

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	1,806	△1,084
減価償却費	662	830
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△719	△85
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△511	△307
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△243	△1,389
賞与引当金増減額 (△は減少)	△54	△14
金融収益及び金融費用	504	754
有価証券評価損益 (△は益)	520	598
その他	△2,244	416
小計	△280	△280
利息の受取額	322	274
利息の支払額	△67	△114
法人所得税の支払額	△2,031	△586
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△2,057	△707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△290	31
有価証券の取得による支出	—	△82
有形固定資産の取得による支出	△465	△284
有形固定資産の売却による収入	—	0
無形資産の取得による支出	△722	△900
投資有価証券の取得による支出	△1,701	△13
投資有価証券の売却による収入	190	—
差入保証金・敷金の増加による支出	△3,464	△4
差入保証金・敷金の減少による収入	18	1,540
貸付金の回収による収入	—	6
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△6,436	293
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額 (△は減少)	3,300	△2,225
長期借入金の返済による支出	△300	△300
株式の発行による収入	—	12,592
新株予約権の発行による収入	0	10
非支配持分からの払込による収入	625	3,280
株式の発行費用の支出	—	△438
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△3,269	—
新株予約権の行使による収入	528	732
リース負債の返済による支出	△281	△258
自己株式の取得による支出	—	△0
財務活動による正味キャッシュ・フロー	603	13,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	306	△316
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,583	12,662
現金及び現金同等物の期首残高	21,633	10,115
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,049	22,777

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(作成の基礎)

(1) 適用される財務報告の枠組み

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第5条第5項に定める記載の省略を適用）に準拠して作成しております。

本要約四半期連結財務諸表には年次の連結財務諸表で要求される全ての情報が含まれていないため、2024年12月31日に終了した連結会計年度の当社グループの連結財務諸表と併せて利用されるべきものです。

(2) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円を表示通貨としており、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、創薬及び製造販売事業である医薬品事業及び、医療機器事業を展開しております。医薬品事業では、医薬品の研究開発、製造、販売及び研究受託等を行っており、医療機器事業では、生体材料を含む医療機器の研究開発、製造及び販売を行っております。

各報告セグメントの主要な製品及びサービスは以下のとおりです。

報告セグメント	主要な製品及びサービス
医薬品事業	ETUARY®、Etorel®、Contiva®、医薬品受託開発、その他医薬品、試薬
医療機器事業	生体材料、医療機器選任製造販売業者及び治験国内管理人サービス

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
売上収益				
外部顧客への売上収益	13,609	3,582	17,192	17,192
計	13,609	3,582	17,192	17,192
セグメント利益	1,419	922	2,342	2,342
			金融収益	563
			金融費用	△1,122
			持分法による投資利益	22
			税引前四半期利益	1,806

（注）セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益を用いております。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			連結
	医薬品事業	医療機器事業	合計	
売上収益				
外部顧客への売上収益	13,212	6,144	19,357	19,357
計	13,212	6,144	19,357	19,357
セグメント利益（△損失）	△1,552	1,054	△497	△497
			金融収益	613
			金融費用	△1,198
			持分法による投資損失	△1
			税引前四半期利益（△損失）	△1,084

（注）セグメント利益（△損失）は、要約四半期連結損益計算書の営業利益（△損失）を用いております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。